

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：玉名市

活動地域：玉名市天水町

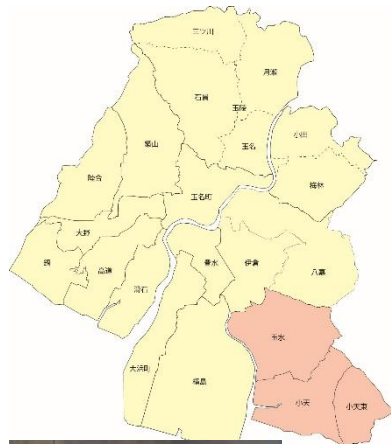
活動におけるテーマ

人口減少の中で地域の活力を維持し、住民にとって
いつまでも暮らしやすい地域を目指す。

本事業への関わり：1年目

活動団体と地域の紹介

玉名市天水町について



玉名市天水地区は、玉名市の西南地域。**東半分は山間部。西半分は平野部が広がる。**令和4年4月に**過疎地域に指定**された。人口の減少が止まらず、地域の担い手が減っている。当該地域には高校が無いために、高校や大学進学時に転出する者が多い。また農業・観光以外に仕事が少ないために、**結果的に転出する者が多い。**

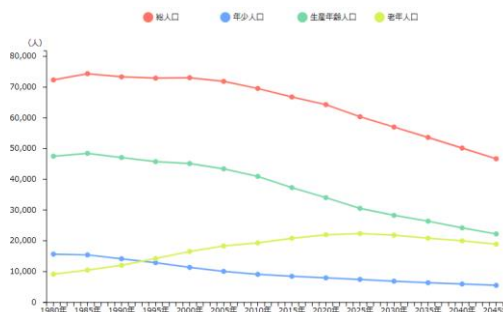


▲明治の文豪夏目漱石は天水地区を訪れ、小説「草枕」の舞台として記している。

農業が基幹産業である。古くから「温州みかん」をはじめとする果樹栽培が盛んであるが、丘陵地、山肌での栽培のために就農者が減少している。近年は、共販から脱して、自らの農産物のブランド化を目指す農業者もあらわれたり、施設園芸温泉も湧出していることから観光も行われている。



玉名市について



生産年齢人口の減少が少なくなり。2020年52.96%が2030年49.63%と予測されている。地域の担い手不足に拍車に係る

玉名市は、1市3町で合併し、今回の天水町はその一つである。人口約65000人。交通の便に恵まれ、国道、鉄道・新幹線の他、近隣には高速道路、フェリーなどアクセスに優れる。

市内には高校5校、大学1校があるが、近年入学希望者の減少が確認できる。また若者の転出が目立ち、特に女性の転出は30代後半まで続き、結果的に人口が減るという状況になっている。

協働のまちづくりを推進

持続可能な地域運営を行うプラットフォームを構築し、「社会×環境×経済」の好循環により、住民にとっていつまでも暮らしやすい地域を目指す。

活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

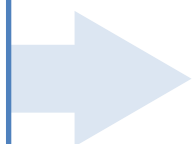
いきいきと健康で豊かに暮らしていける住民のつながり

天水地区の人口減少

- 地域の担い手の不足
- 若者の地域人材育成システムが不全
- 人々の希薄化
- 集落（地域）機能の低下

低い地域内経済循環

- 地域で生産し、外で稼ぐ内発的経済発展
- ※あるものを生かすことで、付加価値を創り出す。



地域の課題が解決された状態

人口減少下の中、住民が自主的に自分たちの生活を維持し、新たに若者や子育て世代が定住する地域づくりにより「社会×環境×経済」の好循環の創出。

- （1）地域の人々のつながり創り
（ソーシャルキャピタルの創造）
- （2）小さな活動主体
をたくさんつくる
- （3）地域運営組織の設立
→農村RMO
- （4）将来の定住化を目指した交流人口、関係人口の増加促進

地域で支え合う
農村プラットフォーム

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- ①**体制**：コアメンバーを中心に地域運営組織（プラットフォーム）を設置
- ②**機能**：人口減少下の中でも地域内で豊かに暮らしを維持できる機能を備える。
 - ・新たな特産品づくり（産業づくり）
 - ・教育環境の充実（小中学生への地域教育、高校大学生への地域課題教育PBL）
 - ・規模縮小による民間事業を、地域力でカバーする。（地域内経済循環、内発的発展）
- ③**規模感**：まずは小さく始め。持続可能なのかを見定め、随時事業規模を調整する。

コアメンバー（案）

天水グループ
地域おこし協力隊
たまな未来創造塾修了生
郵便局長

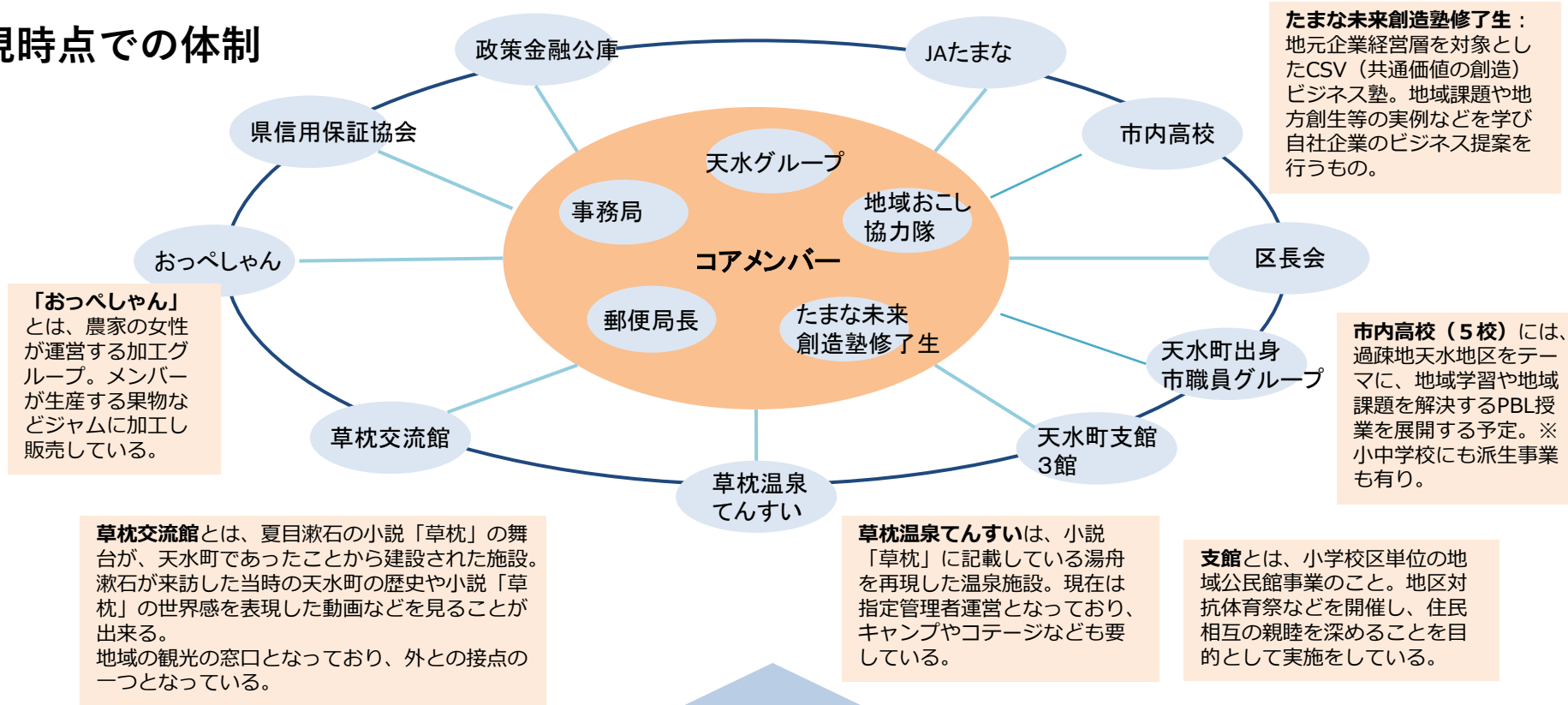
市役所・JAたまな・社会福祉協議会など

想定している資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・**地域資源 1**：たまな未来創造塾修了生や地元企業（ヒト）
 - 過疎地に伴い、企業・団体の強みで地域課題の解決を目指すCSV（共通価値の創造）において、新しい地域づくりを目指す。
※過疎地域持続的発展計画に反映化
 - 高校生の地域課題（探求の授業）として取り上げる。
- ・**地域資源 2**：農産物や観光資源：有明海を望む風光明媚な眺望、夏目漱石や笠智衆などの文化（モノ）
 - 地域の柑橘類、景観などを最大限に活用する。
- ・**地域資源 3**：果樹栽培に適した温暖な気候、農村景観・みかん山（カネ・資産：農村景観保全）
 - 耕作放棄地の解消、中山間地域の里山機能や里山の生物多様性及び治水機能を維持する。

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

→住民が協働で地域をマネジメントする仕組みと、地域外とのつながり

【ヒト】

人々のつながり＝人々のつながりの希薄化（顔合わせをする機会）

- ・プロジェクトマネージャー
- ・人々のつなぎ役
- ・地域の担い手
- ・関係人口（地域外のファン）

【モノ】

- ①人々が学び交流できる場
- ②円滑な移手段
EVシステム
MaaS

【資金】

- ①事業化を行うときの資金
- ②外で稼ぎ地域内で資金が循環する仕組み

【情報】

地域課題

- ・地域内の悩み
- ・地域課題のカリキュラム化
- ・情報発信
- ・進まないデジタルコミュニケーション

年間スケジュール

